

ロシア為替週報

2021年11月22日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(11月13日～11月19日)

USD/RUB: 72.020～73.662

過去1週間のロシア・ルーブル相場は、荒っぽい上下動を繰り返し、結局、前週末比で小幅安に引けた。ウクライナ国境/黒海周辺における軍事的緊張に、大きな変化は確認されなかった。欧米側はロシア軍の集結に警戒感を募らせ、ロシア側は、NATO軍の動向が挑発的だとする非難合戦が続き、この間を通じてルーブルの重石となった。加えて、原油価格の頭打ち、下振れもルーブルの重石になったものと考えられた。16日、独燃料当局が、ノルドストリーム2の営業免許取得審査を中断すると発表したことは、一義的には、巨額の資金を投じて敷設したガスパイプラインが稼動しない(収益を上げられない)という意味でロシア経済(ルーブル)にとっては悪材料と読めた。ただ、この判断によって天然ガス、原油など燃料価格が押し上げられる可能性は、間接的にルーブル押し上げ要因になる可能性も考えられなくはなかった。果たして、天然ガスが反発したほどに、原油価格は反応を見せなかったものの、ルーブルの下落も小幅、かつ一時的にとどまった。審査中断と言っても、所詮、時間の問題に過ぎず、操業開始は遅れるものの、いずれ稼動するとの思惑が働いたのかもしれない。その後通貨市場では、19日になって突然円が全面急騰する局面が見られた。オーストリア政府が、22日から最長20日間の完全なロックダウンを導入すると発表したことがきっかけで、欧州を中心とした経済活動低迷懸念を反映した動き。欧州株は軒並み急落し、リスク回避の円高が進んだ。景気低迷懸念は原油価格急落、80ドル/バレル割れ(ブレント)も引き起こし、ルーブルにとっては、リスク回避の新興市場通貨売りと、原油安を受けたルーブル売りとの二重の意味で売りを招く要因となった。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
11/17	16:00	GBP(前年比)	Q3 A	+4.3%	+4.5%	+10.5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(11月20日～11月26日)

USD/RUB: 73.00～74.50

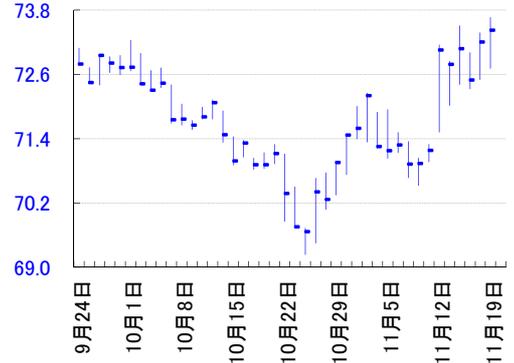
向こう1週間のロシア・ルーブル相場は、引き続きウクライナ国境/黒海周辺の軍事的緊張に留意しながら、ルーブル上値の重い展開を中心に予想。原油価格(ブレント)が、6週間ぶりに80ドル/バレルを明確に割り込み、同水準で週引けを迎えたことで、70ドル/バレル台半ばぐらいまでの調整安を見る可能性が高まったことも、ルーブル上値を重くする一因になるのではないかと。欧州におけるコロナ動向が深刻さを増して(WHOが欧州をパンデミックの「震源地」と名指し)2週間ほど経つが、既にワクチン非接種者の行動制限を導入したり、マスク着用義務を復活させたりした国は多い。オーストリアのロックダウン導入は、コロナ禍動向の騰勢もさることながら、「クリスマスのロックダウンを回避するため」の予防的措置の色彩が強く、同様の判断を周辺国が下し、ドイツなど周辺国が全面的なロックダウン導入で追随する可能性が極めて現実的に警戒されている。ロシア中銀金融政策動向は、追加利上げ継続がほぼ完全に織り込まれた状況で、ルーブルが材料視する可能性は低い。先週行われた議会証言(18日)で、同銀ナビウリナ総裁が「今、金融引締めが必要とされている」とはっきりと断言したが、並行してルーブルはほぼ一方的に下落。金利先渡市場では、向こう半年で+150～200b.p.を超える追加利上げが織り込まれており、足元の物価騰勢は事実だが、ロシア中銀の金融引締め(利上げ)が世界でも最も先行してきた経緯を振り返ると、今後、それだけの追加利上げ期待を更に上回る利上げ期待感が形成される可能性よりは、足元期待感に現実が追いつかない可能性の方が高いように思われる。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
11/24	16:00	鉱工業生産(前年比)	10月		+5.8%	+6.8%

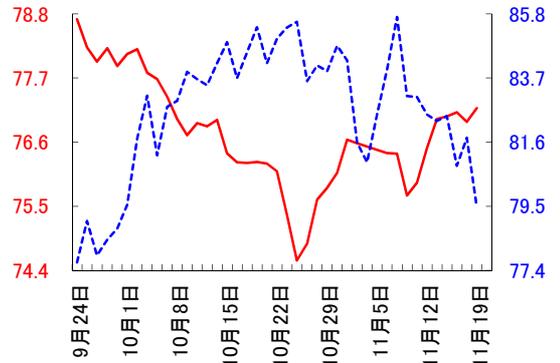
(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/RUBの推移(日足/ロンドン7:00～17:00)

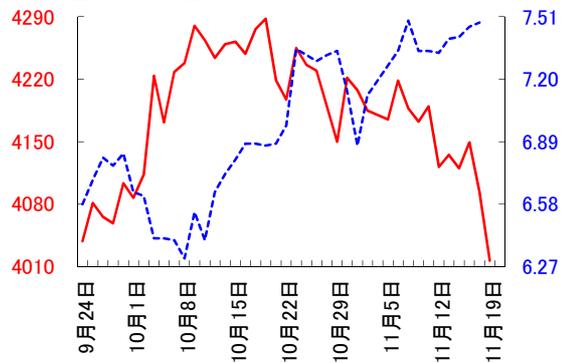


株ルーブル/バスケット推移(ロシア中銀公示)

原油価格推移(ブレント直物)



株式/金利相場の推移(MOEX指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		7.50%
成長率(GDP/前年比)	Q3	+4.3%
失業率	9月	4.3%
消費者物価(前年比)	10月	+8.13%
小売売上高(前年比)	9月	+5.6%
鉱工業生産(前年比)	9月	+6.8%
貿易収支(USD)	9月	+20.0bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。